

第41回 お遊戯会 オペレッタのあらすじを紹介します

“おおかみと7ひきのこやぎ” (橙組・桃組)

「おおかみを家にいれないよう注意なさい」

お母さんやぎはこやぎ達にそう言って森に食べものを探しに出かけます。

こやぎ達は、おおかみの「しわがれ声」や「黒い足」をしつかり見ぬいて、おおかみを追い払います。

しかし、おおかみは知恵を働かせて「しわがれ声」を「きれいな声」に、「黒い足」を「白い足」に変えて再びこやぎ達の家に来て来ます。

こやぎ達は、とうとうおおかみに騙されて家の扉を開けてしまいます。

出所：福音館書店のHPより一部変更。



“おおきなかぶ” (赤組)

ある日おじいさんが畑に行くと、大きな大きなかぶの葉っぱがありました。

よいしょこらしょ、うんとこどっこい、おじいさんは一生懸命引っ張りますが、かぶは抜けません。

おじいさんはおばあさんをお呼びに来て、おばあさんはまごむすめをお呼びに来て、まごむすめは犬をお呼びに来て、犬は猫をお呼びに来て、それでも抜けないので猫がねずみをお呼びできます。

“うんとこしよ、どっこいしよ” 大きなかぶは、ついに!!

『スポン』と抜けました。



“おむすびころりん” (緑組・黄組)

むかしむかし・・・あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

働き者のおじいさんは、おばあさんの持たせてくれたおむすびを持って、山へ芝刈りに出かけました。

ひと休みしようとおむすびを食べようとしたおじいさん、「ころりん」・・・とおむすび



が転がり落ちました。

転がるおむすびを追いかけて、すっとへん!!おじいさんとおむすびは穴の中へ落ちてしまいました。

穴の中では大勢のねずみ達がうたやごちそうで、おじいさんをもてなしてくれました。

楽しいひと時を過ごしたおじいさんが帰ろうとすると、ねずみ達は大きなつづらを持たせてくれました。

それを見ていた隣のおじいさんは、「宝物だ・・・!!」と自分もおむすびを持って山へ出かけて行きました。

無理矢理、穴の中へ入ったおじいさん、つづらをみんな自分の物にしようと「にゃーご、にゃーご」

大声でねこの真似をして、「しめしめ・・・」と思ったその瞬間、急に辺りが暗くなり、ねずみ達もつづらも全部消えてしまいました・・・。



“ながぐつをはいたねこ” (青組・白組)

むかしむかしあるところに、とても貧しい青年カラバがいました。

ある日、お父さんが亡くなり、青年にはねこが分け与えられました。

がっかりしていると、ねこが「私に大きな袋と長靴をください」と言いました。

そうすれば、とてもいいことが起きると言うのです。

言う通りにすると、ねこは大きな袋をつかったうさぎを捕まえ、王様のところへ行って「カラバ侯爵からの贈り物です」と言いました。

カラバ侯爵というのはねこが青年に勝手につけた名前でしたが、王様はすっかり信じ込み、ねこからの贈り物を受け取りました。

ある日、ねこは青年に川で水浴びをさせました。

そして、そこを通りかかった王様とお姫様に向かって「カラバ侯爵が水浴びをしている間に、大事な服を盗まれた」と嘘をつきました。

それを聞いた王様は気の毒に思い、立派な洋服を青年に贈りました。

そのあとも、ねこは青年の幸せのためにさまざまな知恵を働かせます。☆

出所：arasujikun.comより一部変更。

夢と希望の物語です☆

